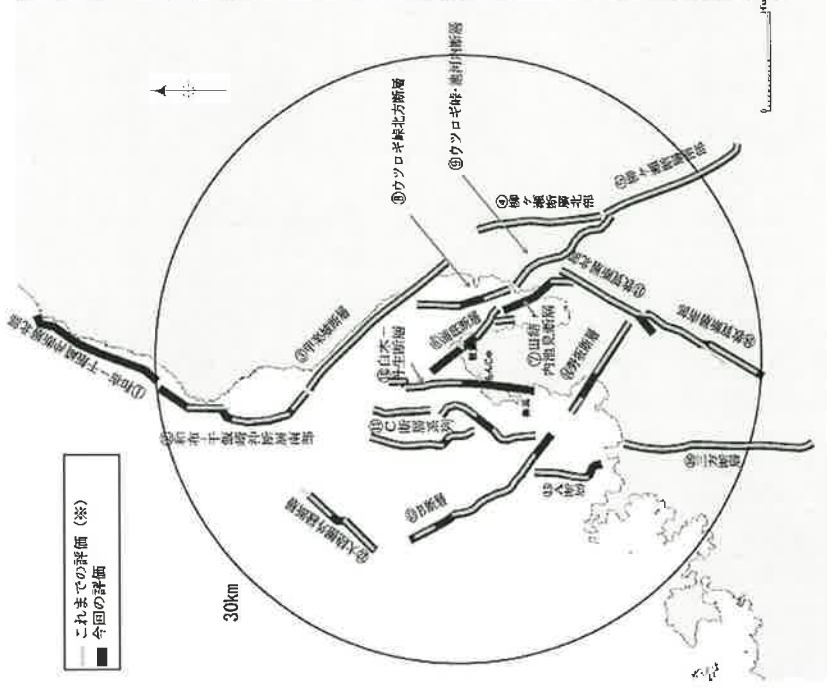


敦賀半島周辺の活断層の評価結果

10

(※) 数値3.4号申請時

断層名	これまでの評価 (※)	今回の評価	変更理由
①和布一干峯崎沖断層北部	-	16km	これまでとは距離から30km程度の範囲までを調査していたが、今回は調査範囲を拡張。活断層が北方まで遷移すると評価。(地形からは、真向の山地を上昇させる活断層が推定される)
②和布一干峯崎沖断層南部	3.6km, 8.1km	17km	2本の活断層が連続することを確認。
③甲斐崎断層	21km	19km	断層北部の一部は、和布一干峯崎沖断層であると同様。
④柳ヶ瀬断層北部	28km	13km	これまでと同様の評価。(北部と南部で走向や活動時期に違いが認められるため2つに区分)
⑤柳ヶ瀬断層南部		16km	
⑥浦盛断層	3.0km(南方海域)	10km	これまで後期更新世以降の活動が認められていたことから、新断層指針に照らすと考慮対象の活断層。新たに発見したトレンチ調査でも、真向、延長帯の断層に連続すると評価。
⑦田結・内地見断層	2.5km, 2km	10km	高尾断層と陸奥断層は連続すると評価。(走向や断層のずれの方向などが類似)
⑧アツロギ崎・北方断層	5.8km	11km	延長帯と陸奥断層は異なる活断層と評価。
⑨アツロギ崎・池内断層	16km	13km	延長帯と陸奥断層は異なる活断層と評価。(走向や断層のずれの方向などが異なる)
⑩白木一丹生断層	2.4km(北方海域) 6.4km(北方海域)	15km	トレンチ調査で後期更新世以降の活動を新たに確認。延長帯の断層に連続すると評価。
⑪C断層系列	3.1~7.9km	7~11km	一部で安さの異なる3つ、3つの活断層として評価。
⑫大磯崎外縁断層	5.4km, 5.1km	10km	連続する活断層であることを確認。
⑬日断層	4.3km, 10.7km	19km	連続する活断層であることを確認。
⑭野原断層	7.3km, 2.1km	12km	陸奥断層と海城断層は連続すると評価。
⑮A断層	6.1km	7km	断層が長くなった。
⑯三方断層	19km	19km	変更なし
⑰敦賀断層北部	18km	11km	活断層の位置帯の調査に伴い、断層の全長が長くなった。(北部と南部で走向などに違いが認められるため2つに区分)
⑱敦賀断層南部	8km	13km	



* 追加調査指示のあった山中断層及び柳ヶ瀬断層については、3.4号申請時の評価と同様。考慮対象外と評価

甲第
108
号証